

令和7年6月4日

関 係 各 位

岐阜県畜産研究所 飛騨牛研究部

県有種雄牛の陰茎損傷に関する治療の結果について

このたびは、生産者並びに関係者の皆様に種雄牛の怪我のご連絡が遅れたこと、さらには凍結精液の配布に支障をきたしたことににつきまして心よりお詫び申し上げます。

家畜改良事業団の協力のもと診察及び治療した結果について、下記のとおりお知らせします。

記

○清光勝

診察日 : 令和7年6月2日(月)

結 果 : 陰茎粘膜の整形と縫合を行った

今後の対応 : 7月中旬に陰茎を確認し、治癒が確認されれば採精開始
(術部の裂開が確認されたら再縫合を実施する場合あり)

○義景竜

診察日 : 令和7年6月3日(火)

結 果 : 陰茎粘膜の癒合が確認され、外科処置不要と判断

今後の対応 : 7月上旬に陰茎の確認を行い治癒が確認されれば採精開始

○清俊平(令和6年度直検8号牛)

診察日 : 令和7年6月3日(火)

結 果 : 陰茎粘膜の治癒を確認

今後の対応 : 採精再開

○当所ホームページでの情報提供

迅速な情報提供のため、今後の情報はホームページで提供いたします。

次回情報は、7月上旬に義景竜の治癒の状況を報告予定です。

研究所 HP の URL : <https://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp/>



こちらのQRコードからもご確認いただけます。